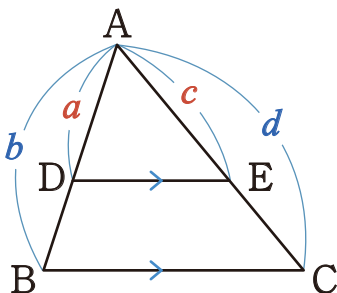


三角形と比の定理の逆

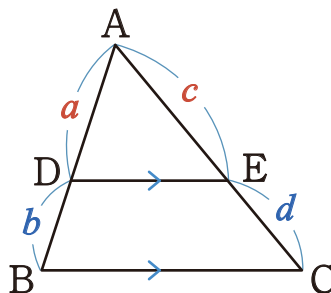
三角形と比の定理については、次のように定理の逆も成り立つ。

三角形と比の定理の逆

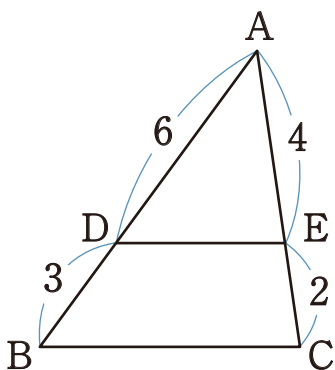
1. $a:b=c:d$ ならば、
 $DE//BC$



2. $a:b=c:d$ ならば、
 $DE//BC$



1 次の図で $DE//BC$ が成り立つ理由をいいなさい。



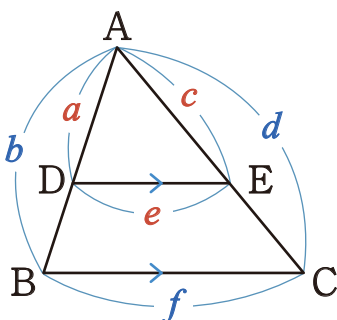
$AD:DB = 6:3 = 2:1 \dots \textcircled{1}$

$AE:EC = 4:2 = 2:1 \dots \textcircled{2}$

$\textcircled{1}, \textcircled{2}$ から $AD:DB = AE:EC$ だから、
 $DE//BC$

《復習》 三角形と比の定理

1. $DE//BC$ ならば、
 $a:b=c:d=e:f$



2. $DE//BC$ ならば、
 $a:b=c:d$

